

令和4年度(2022年度) 事業計画

事業所 法人本部

①理事会等の開催状況

理事会(回)	理事協議会(回)	評議員会(回)	施設調整会議(回)	特別委員会・特別委員会(回)
2019年	9	3	1	12
2020年	10	0	1	11
2021年(累計)	10	0	3	10

②その他の会議の開催状況

第三委員会(回)	京期中期経営計画策定委員会(回)	京期中期経営計画調整委員会(回)	施設調整会議(回)	特別委員会・特別委員会(回)
2019年	3	0	0	0
2020年	2	4	17	0
2021年(累計)	2	0	0	5

③理事長職務執行状況報告

報告回数	役員研修会(回)	職員研修会(回)
2019年	2	2
2020年	2	0
2021年(累計)	2	0

④研修会の開催状況

金額(千円)	職員研修会(回)
2019年	214,570
2020年	295,400

⑤社会福祉充実残額

金額(千円)	
2019年	214,570
2020年	295,400

前年度業績及び評価  
(2021年度最終見込)

⑥経営状況(法人全体)

	法人全体 (円)	
	サービス活動収益	サービス活動増減差額
2019年	703,751,266	62,221,793
2020年	718,955,000	72,174,000
2021年(見込)	733,041,688	96,303,146

⑦経営状況(本部拠点区分)

	本部拠点区分 (円)	
	サービス活動収益	サービス活動増減差額
2019年	425,000	-10,953,207
2020年	0	-8,632,000
2021年(見込)	0	-8,180,000

①理事会等の開催状況について

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の爆発的な拡大の影響により、理事会や評議員会の数回が書面決議で開催変更になり、理事協議会についてもやむを得ず中止と判断せざるを得ない状況となった。今後はオンライン形式(ZOOM会議)など時代に合った開催方法などを検討する必要がある。

②その他の会議の開催状況について

第1期中期経営計画に基づき令和4年度から法人本部事務局体制を充実させるため、事務局本部と各事業所との事務分担や人員検討など体制整備にかかる経営計画調整会議を必要に応じて開催した。

③理事長職務執行状況報告について

決算期、上半期終了時の年間2回実施した。今年度から第1期中期経営計画に基づく進捗や課題を執行状況の資料として様式を整理して添付し、法人全体の経営状況をより分かりやすく報告を行った。

④研修会の開催状況について

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の爆発的な拡大の影響により、計画はしていたが一度も開催できなかった。今後はZOOM等を活用して実施できる方策を検討する必要がある。

⑤社会福祉充実残額について

令和3年度は当初計画の最終年にあたり、年度当初には295,400千円の充実残額が生じているため(仮称)高齢・重心対応型サービスセンター事業の補助事業の自己資金分として執行する計画を立

ていたが、補助事業採択見送りにより令和4年度に新たな次期計画を策定し執行していく必要がある。

⑥経営状況(法人全体)について

法人全体としては、当期活動増減差額を7%以上確保できている。(13.2%)

⑦経営状況(本部拠点区分)について

特別な業務の変更以外大きな変動はない。

(2019年度=50周年記念事業 2020年度=経営計画策定業務 2021年度=ネットワーク構築LAN工事)

⑧その他(特筆すべき事項)

- たかしま会のロゴマークの策定  
法人職員の応募作品から厳正な審査の結果ロゴマークを決定する。
- 地域貢献事業「行こう」のリニューアル  
令和2年8月から実施している「行こう」事業を利用者等の意見や要望に基づき一節変更を加え令和4年1月からリニューアル実施を行った。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の実施  
法人職員全員を対象に唾液PCR検査の実施(9月・2月)  
感染した場合等の対応基準の策定

# 1: 目指す姿 どのような法人をを目指すのか。

## 求める福祉がここにある 地域とともに 福祉を創る たかしま会

令和2年度に策定した「第1期中期経営計画」の2年目にあたり、令和4年度は本格的な体制・機能充実に取り組み、年度+

### ① 法人本部事務局体制の充実

- 法人本部の新しい機能充実に向けた事務局体制がスタートする (令和4年4月1日から新事務局体制で実施)
- 早急に法人事務局として取り進むべき事務の課題整理 (各種列報の整理、職員研修計画の策定、社会保険業務の一元化)
- 令和5年度以降に導入すべき事務課題の検討 (会計事務及び法人車両の一元管理、電子システム(給与・人事・就業)の導入、定年延長制度に向けた対応)

目標 R4年12月 完了  
目標 R5年3月 完了

### ② 職員体制の再構築

- 法人全体の適正な人員配置を検討する
- 事務分掌分担による事業所ごとの人員の再検証
- 法人全体での人員配置の再検証

事業量に見合う人員配置の再検証  
施設長・次長・主任クラスの職務分担の見直し

目標 R5年3月 完了  
目標 R5年3月 完了

### ③ 財政基盤の強化

- 継続して経営の安定化を図る(サービスの質の向上、地域福祉推進に寄与、働きやすい職場作り等達成のために)
- 各事業所(2022年経営計画)を参照
- 次期社会福祉充実計画(R4~R9年度)の策定

法人全体で、当期活動増減差額を7%以上確保  
(法人全体当期活動増減差額/法人全体サービス活動収益)  
新たな5ヶ年計画の策定(高齢・重点対応型サービスセンター・新築事業等の繰越実施)

目標 当期活動増減差7%以上  
目標 R4年6月 策定

### ④ 経営理念の浸透(継続)

- 全役職員が理念・倫理綱領のもと行動する
- 各事業所で朝礼時「たかしま会理念」を唱和する
- 理事会等の議案資料に「たかしま会理念」を掲載する

目標 R3年4月 から  
目標 R3年6月 から

### ⑤ 効果的・効果的な事務規律の確立

- 法人全体としての事務処理の統一とコスト意識の醸成を図る
- 【事務処理の手引き】の作成
- 経営計画のフォローアップ事務(資金計画の見直し)

目標 R5年3月 完了  
目標 R4年12月 完了

### ⑥ トータル人材マネジメントの整備 人材育成・サービスの充実

- 〈職員業務の法人一元化〉
  - 採用計画の作成と募集戦略の検討(インターネットの効果的な活用他)
  - (再掲)事務分掌分担による事業所ごとの人員の再検証
  - (再掲)法人全体での人員配置の再検証
- 〈人材育成〉
  - 職員研修計画の策定
  - 出前講座の実施(法人PR)

事業量に見合う人員配置の再検証  
施設長・次長・主任クラスの職務分担の見直し  
研修体系の整理と資格取得計画等の作成  
独自の就職フェアや大学生、専門学生、高校生へのアプローチ

目標 R4年9月 完了  
目標 R5年3月 完了  
目標 R5年3月 完了  
目標 R4年12月 完了  
目標 R4年12月 完了

### ⑦ 情報収集の強化

- 外部要因の収集
- 経営計画のフォローアップ

通年

### ⑧ サービスの質の向上

- 各事業所に、サービスの質の向上を推進

サービスの質の向上の取りまとめ

通年

当年度活動方針と事業の進め方

<p>⑨安全で衛生的なかつ快適な環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策の徹底</li> <li>・ 法人全体の事故件数の取りまとめと評価</li> </ul>	<p>通年</p> <p>通年</p>
<p>⑩老人福祉施設と障害福祉施設の併設の強味を活かす(併設の強味の強味を活かす)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各事業所に、連携強化を要請</li> </ul>	<p>通年</p>
<p>⑪地域における公益的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会貢献事業「行こかー」の評価と充実</li> <li>・ 地域福祉ニーズ調査</li> </ul>	<p>通年</p> <p>目標 R5年3月 完了</p>
<p>⑫魅力ある職場環境の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の安全と健康の確保</li> <li>・ 職員の処遇の改善</li> <li>・ 有給休暇取得の促進</li> <li>・ 時間外労働の削減</li> <li>・ 良好な人間環境を維持する組織風土の醸成</li> <li>・ 定年延長制度の検討</li> </ul>	<p>目標</p> <p>1回</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>目標 R5年3月 完了</p>
<p>⑬法人のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各事業所に、ブランド化を推進</li> </ul>	<p>通年</p>
<p>⑭広報活動の充実(情報発信の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ管理委員会設置機能の検討と専門制作会社への委託検討</li> </ul>	<p>通年</p> <p>目標 R4年12月 完了</p>
<p>⑮先進的な技術やITの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各事業所に、先進的な技術やITの取り組みを推進</li> </ul>	<p>通年</p>

当年度活動方針と事業の進め方

令和4年度(2022年度) 事業計画

事業所 藤波園

成果	① 養護入居者数及び利用実績		措置費要項(円)		職員数	
	入居者数(人/日平均)	事業費	事務費	計	正規	非正規
	2019年 59.3	2019年 36,949,823	92,288,361	129,238,184	17.6	10.2
	2020年 57.8	2020年 36,530,601	88,837,697	125,368,298	17.6	10.2
	2021年見込 55.0	2021年見込 35,155,000	81,719,000	116,874,000	19.0	7.0
	② 介護保険利用者および利用実績		単位:円		平均介護度	
	利用者(人/月平均)	介護給付費	利用者負担金	計	2019年	3.2
	2019年 22.3	2019年 52,064,007	6,438,553	58,502,560	2020年	3.4
	2020年 23.8	2020年 58,084,495	6,608,275	64,692,770	2021年見込	3.2
	2021年見込 26.3	2021年見込 66,329,000	7,368,000	73,697,000		
	③ 経営状況		藤波園視認区分事業要項(円)		当期活動増減差額	
		サービス活動収支	人件費	サービス活動増減差額	2019年	4,325,379
		2019年 189,461,898	119,244,589	7,778,022	2020年	2,588,000
		2020年 193,959,000	122,355,000	4,879,000	2021年見込	7,811,000
		2021年見込 194,037,000	122,254,000	8,809,000		
前年度実績及び評価 (2021年度最終見込)	<p>④ 養護入居者数及び介護保険利用者の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月以降、病状の悪化等による入居者の措置替えが3件、死亡4件。新たな措置は大津市が5・6・2月に3件、草津市が10月に1件(他の介護からの移転)、高島市が1月に1件であったが、2月末現在 入居者52人(1・2月に他施設への移動1件、死亡5件、入居2件と4名の減)</li> <li>・介護保険利用者の目標は25人であったが、段階的に増員し一時的には利用者は28人となったが、年明け以降死亡者の増加により24人となる。</li> </ul> <p>⑤ 環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症により、面会を制限しており、リモート面会・ガラス越し面会で対応している。</li> </ul> <p>⑥ 施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化により、機械器具の故障が増加しており、修繕できず買替が必要なケースも増加してきている。</li> </ul> <p>⑦ その他(特筆すべき事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症への配慮しながら、行事等を実施した。</li> <li>・藤の木工場の作業(玉ねぎ苗植え)への利用者の参加 5名</li> <li>・入居者への藤美陶芸教室の参加呼びかけ</li> <li>・滋賀県老人福祉施設協議会での契約入所への取組状況の調査、および、所在市町への措置費の増額要望を実施した。</li> </ul>					
評価	<p>① 養護入居者数及び利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の病状の悪化により措置替えとなるケースが多く、また、欠員の補充に時間を要した。</li> <li>・高島市からの措置は令和2年9月以降なく、令和2年度4名の措置があった大津市も措置を抑える方針である。今後措置での入居者数の増は見込めないことから、契約入所の増定を定め近隣市町にPRを行っているが、契約入所には至っていない。</li> </ul> <p>② 介護保険利用者および利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養護の入所者が見込めないため、特定施設の利用者確保に努め、今年度目標の25人に対し本年度見込みは26.3人となっている。</li> <li>・1・2月に介護保険利用者4名死亡、1名退去により、対象者が24名となる。</li> </ul> <p>③ 経営状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定施設生活改善サービス区分および訪問介護事業所サービス区分の収支は改善した。</li> <li>・拠点区分全体の収支差額は減少した。</li> </ul> <p>④ 生活支援</p> <p>⑤ 環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面会等の制限により、一部入居者に心理的な負担を強いっている。</li> </ul> <p>⑥ 施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体不足による機械器具の納期が遅れや、機械器具取得の予算がないため、補正予算等に時間が必要なことから、早期の対応ができなかった。</li> </ul> <p>⑦ その他(特筆すべき事項)</p>					

1:目指す姿 どのような事業所を目指すのか。

尊厳のある生活の場と経営の安定を目指して

<p>①法人事務高体制の充実 ： 法人本部の方針に準じ、連携して実施</p>																																	
<p>②職員体制の再構築 ： 法人本部の方針に準じ、連携して実施</p>																																	
<p>③経営理念の明確化 ： 法人本部の方針に準じ、連携して実施</p>																																	
<p>④財政基盤の強化(特定施設の健全経営) ： 入居者の確保および介護保険利用者の確保による収益の向上 ・ 新規入居者の確保 ・ 契約入所の促進 ・ 介護認定の早期申請と入居時の病状等の確認および介護方針の協議 近隣市町村に対する空き情報の発信と関係強化</p>																																	
<p>⑤効率的・効果的な事務規律の確立 ： 法人本部の方針に準じ、連携して実施</p>																																	
<p>⑥トータルな人事マネジメントの整備 ： 法人本部の方針に準じ、連携して実施</p>																																	
<p>⑦情報の収集体制の強化 ： 法人本部の方針に準じ、連携して実施</p>																																	
<p>⑧広報活動の充実 ： 法人本部の方針に準じ、連携して実施</p>																																	
<p>⑨地域における公益的な取り組み(共生社会を見据えた取り組み) ・ 利益追求のための定員確保を目指すのではなく、緊急避難的に介護老人ホームを必要とする方のため受け皿として事業運営を行う。</p>																																	
<p>⑩法人のブランド化 ・ 介護老人ホームの意義および必要性を県内市町村に対し啓蒙する。 施設のない自治体での措置が極端に少ないことから、県内の介護老人ホームに働きかけ、共同で施設のない自治体に周知を図る</p>																																	
<p>⑪サービスの質の向上 ・ 常に入居者の立場にたった良質で適切なサービスが継続的に提供できるよう、職員の質の向上を目指す。 (人材育成) ：職員のスキルアップ(適正な介護技術の習得) ・ 職員研修 ：職員のスキルアップ(虐待防止に向けた取り組み) ・ 職員研修 ：職員の資格取得に向けた支援 ・ 支援予定人数 介護福祉士・介護支援専門員 各1</p>																																	
<p>⑫先進的な技術やITの取り組み ： 法人本部の方針に準じ、連携して実施 ： 新しく導入した介護保険ソフトを活用した入居者の状態管理</p>																																	
<p>⑬老人福祉施設と障害福祉施設の併設の強味を活かす(併設の強味を活かす) ・ 令和3年度に試験的に実施した事業をベースに検討する。</p>																																	
<p>⑭安全で衛生的かつ快適な環境の整備 ： 法人本部の方針に準じ、連携して実施</p>																																	
<p>⑮魅力ある職場環境の構築 ： 法人本部の方針に準じ、連携して実施</p>																																	

当年度活動方針と事業の進め方

隣の樹工房および隣業と協議し事業実施を行う

令和4年度(2022年度) 事業計画

事業所 陽だまり

実績

①契約書数及び利用実績

平均契約書数(人)	2019年	2020年	2021年
	21	17	18

利用実績		職員数(人)
所要日数(日)	要利用者数(人)	
2019年	365	7,355
2020年	366	7,089
2021年	365	6,535

職員数	
2019年	2020年
18	17
2021年	16

②介護給付費

給付費(円)	2019年	2020年	2021年
	44,898,396	41,230,379	38,770,000

③利用実績内訳

通いサービス	宿泊サービス	訪問サービス	年度末時点
2019年	3,583	461	3,511
2020年	3,136	262	3,896
2021年	2,893	297	3,345

④経営状況

事業総額		人件費		当期活動理減差額	
サービス活動収益	2019年	2020年	2021年	サービス活動理減差額	2019年
	53,634,990	49,174,080	45,830,000	△ 43,024,630	△ 3,689,548
				△ 7,674,443	△ 7,650,376
				△ 5,700,000	△ 5,676,000

⑤生活支援

- ・蔓延防止、緊急事態宣言を受けたが、施設内での活動に限り、感染対策を行い行事も実施した。
- ・消毒、マスクの着用、利用時前の検温等を徹底し、感染対策に務めた。
- ・認知症利用者の増加から、日中活動(レクリエーション)以上にケア時間が増加した。

⑥環境整備

- ・新型コロナウイルスへの各種対策を迅速に行った(アクリル板設置・検温・マスクの徹底・消毒)現在も継続して感染対策実施している。

⑦施設整備

- ・積雪などの対策の為、融雪装置などの点検を行った。除雪車(トラクター)も整備し除雪作業を行う頻度も増えた。

⑧その他(特筆すべき事項)

- ・地域貢献の一環として、コロナ過ではあったが、美化活動を定期的に行った。(4月～10月)
- ・市ヶ崎区の清掃活動に参加した。(7月、10月の2回)
- ・コロナ過ではあるが、市ヶ崎区の集い(10月)にも参加した。

評価

①<契約者数について>

- ・6件の新規契約もあったが施設入所・死亡により契約者数に伸び悩んだ。
- ・民生委員、区長、区の集いなどでパンフレットにて利用案内をしたが、契約に結びつかなかった。
- ・湖西ニュータウン、サニータウンへもチラシを戸別配布を行った。

②③<利用実績について>

- ・介護給付費も前年と比べ下回っている。
- ・家族が仕事等で不在となるため、通いサービスの送迎時の送り出し等訪問サービスが必要利用者ケース多く、通所サービスと比例して減少した。

④<経営状況について>

- ・昨年度は利用契約数減少のため、人件費を削減し、健全化を図った。利用契約数はなんとか維持したものの、利用者の介護度の軽度化および入院により介護給付費の減少が著しい。
- ・他の居宅支援事業所および地域包括支援センターの紹介ケースもあるが、毎日3回の調理など限度額を超えたケースであるため、新規利用ケースの確保のため営業活動を継続するほか対応策が無い。

⑤生活支援

- ・新型コロナウイルス感染症への配慮から、次年度についても交流事業は見合わせる。活動内容に工夫が必要である。
- ・施設でも運動する機会の減少により、利用者のADLも低下傾向にある。

⑥環境整備

- ・マスク、アルコールなどの備品は備蓄が出来ている。コロナ感染が続く中、衛生用品の高騰など、事前に購入を勧めおく必要がある。

⑦施設整備

- ・12/27の豪雪では積雪が起動せず、除雪車も起動出来なかった。使用の有無にかかわらず、施設備品の点検を行うことが必要であった。

⑧その他<施設整備等特筆すべき事項>

- ・施設整備に充てる資金力がないため、適時器具備品の修繕などを行う必要がある

前年度実績及び評価  
(2021年度最終見込)

# 1:目指す姿 どのような事業所を目指すのか。

## ①財政基盤の強化(経営数値)

- ・ 新規利用者の確保により介護給付費の増額を目指す
- ・ 年間平均契約者数
- ・ 通所サービスと訪問介護うまく活用しつつ利用者確保に努める。
- ・ 近隣地域の利用者への啓蒙、声掛け(パンフレット配布)

目標  人

## ②トータルな人材マネジメントの整備 人材育成・サービスの充実

- 〈人材育成〉
- ・ 職員のスキルアップ
- ・ 職員研修 (所内研修)
- ・ 認知症理解、高齢者虐待、感染症、リスクマネジメント、人権(法定研修を含め) YouTubeなどのコンテンツも活用

目標  人

・ 職員の資格取得に向けての支援 (OM更新、認知症実践者、計画作成者研修)

- ・ 支援予定人数

目標  人

## ③サービスの質の向上

〈利用者への支援〉

- ・ 居宅サービス計画書および小規模多機能型居宅介護サービス計画書の作成(定期見直し)
- ・ 虐待防止への取り組み(高島市、各種研修、チェックリストを活用)
- ・ 施設行事の見直し
- ・ 機能回復訓練等の実施
- ・ 体験利用の受け入れ(無料)

コロナ過では活動内容に制約があるが、利用者が楽しめる内容を工夫する。(屋外での活動を増やす)  
 体操など運動メニューを取り入れ、ADLの維持・向上を図る。  
 体験利用(無料)を提案し、施設を知ってもらう。

1~2	回/年
2	回/年
	随時
	毎日
	随時

〈業務改善等〉

- ・ 運営推進会議の開催。
- ・ 運営推進会議による改善提案に対する意見交換
- ・ 第三者委員会等への情報提供
- ・ ※コロナ感染から書面開催の場合もあり、機関誌および報告内容を充実して意見を頂くようにする。  
 苦情案件はもちろん業務遂行上の課題を提出しサービスの向上に努める

回/年

回/年

④短期利用居宅介護費の利用

居宅支援事業所と連携し、利用者・家族の諸事情により通常の居宅サービスを受けることが出来ない利用者を7日の範囲でサービス提供を行う。(運営規程、契約も含め整備が必要)

随時

⑤情報収集体制の強化

- ・ 多職種連携を強化

市内の小規模多機能型居宅介護事業所との情報交換会・勉強会を定期的に参加する。  
 県CM協議会 湖西CM協との情報交換会を行う。  
 県CM協議会 小規模多機能型居宅介護事業所研修への参加

2	回/年
4	回/年
1	回/年

⑥広報活動の充実(情報発信の強化)

- ・ HPや広報誌の発行を充実

法人本部と連携しHPや広報誌の充実を図る  
 病院、地域包括支援センターへの配布および市ヶ崎、浜分などに配布する。

3	回/年
随時	
随時	

⑦地域における公益的な取り組み

- ・ 浜分見守隊および市ヶ崎区の集いに参加・協力依頼。
- ・ 地区の清掃活動参加
- ・ 地域美化活動

開催時に職員が参加する  
 地区の清掃活動に職員が出役する。  
 4月～10月の期間で毎月美化活動を実施する。

開催時	回/年
2	回/年
7	回/年

⑧法人のブランド化

- ・ 相談窓口の設置
- ・ 自家製野菜のメニュー作り

たかしま会のサービス利用の高齢、障害者相談窓口としてパンフレットの設置  
 新鮮、安全をモットーに昼食に自家製野菜を使っていることをアピールする。

⑨先進的な技術やITの取り組み

- ・ 担当者会議の効率化

新型コロナウイルスへの対応としても担当者会議のWEB化。

随時

⑩安全で衛生的なかつ快適な環境の整備

- ・ 防災マニュアル・防疫マニュアルの見直し
- ・ 火災訓練の実施

既存のマニュアルを見直し、職員や利用者へ周知徹底を図る  
 火災訓練がマンネリ化しないよう工夫しながら実施する

随時	
2	回/年

当年度活動方針と事業の進め方



令和4年度(2022年度) 事業計画書

事業所 藤美寮

① 契約者数及び利用実績

● 契約者数  
施設入所支援

	定員	契約解除者	新規契約者数	今年度契約者数	摘要
2019年	46人	3人	4人	46人	男性26人 女性20人
2020年	46人	3人	3人	46人	男性27人 女性19人
2021年	46人	1人	1人	46人	男性28人 女性18人

短期入所

	今年度未登録者数	今年度実利用者数
2019年	62人	29人 男性15人 女性14人
2020年	65人	21人 男性12人 女性9人
2021年	68人	18人 男性10人 女性8人

生活介護

	定員	契約解除者	新規契約者数	今年度契約者数	摘要
2019年	50人	2人	5人	55人	入所者46人 通所者9人
2020年	50人	2人	3人	56人	入所者46人 通所者10人
2021年	50人	1人	4人	59人	入所者46人 通所者13人

● 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分
2019年	0人	0人	0人	2人	11人	32人	45人	5.67
2020年	0人	0人	0人	3人	12人	31人	46人	5.61
2021年	0人	0人	0人	3人	10人	33人	46人	5.65

● 利用実績

【施設入所支援】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	延べ利用者数 1,336	1,418	1,364	1,420	1,344	1,330	1,341	1,361	1,383	1,379	1,318	1,371	16,365人
	平均利用者数 45.5	45.8	45.5	45.7	43.7	45.2	44.5	45.9	44.8	44.5	45.2	43.3	44.9人/日
2020年	延べ利用者数 1,363	1,407	1,367	1,389	1,390	1,363	1,426	1,380	1,418	1,418	1,288	1,426	16,685人
	平均利用者数 45.5	45.4	45.6	44.9	44.9	45.5	46.0	46.0	45.8	45.8	45.7	46.0	45.6人/日
2021年	延べ利用者数 1,343	1,365	1,409	1,426	1,421	1,380	1,426	1,380	1,426	1,394	1,288	1,397	16,655人
	平均利用者数 44.7	44.0	46.9	46.0	45.8	46.0	46.0	46.0	46.0	44.9	46.0	45.1	46.0人/日

【生活介護】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	開所日 22	23	22	23	23	22	23	23	22	23	21	23	270日
	延べ利用者数 1,087	1,171	1,118	1,202	1,152	1,096	1,129	1,151	1,195	1,201	1,095	1,166	13,763人
	平均利用者数 49.5	51.0	50.9	52.3	50.1	49.9	49.1	52.4	52.0	52.3	52.2	50.7	51.0人/日
2020年	開所日 22	23	22	23	23	22	23	22	22	23	20	23	269日
	延べ利用者数 1,169	1,145	1,174	1,198	1,173	1,139	1,243	1,170	1,215	1,215	1,060	1,219	14,120人
	平均利用者数 53.2	49.8	53.4	52.1	51.0	51.8	54.1	53.2	52.9	52.9	53.0	53.0	52.5人/日
2021年	開所日 22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269日
	延べ利用者数 1,173	1,201	1,204	1,242	1,223	1,210	1,253	1,201	1,273	1,279	1,082	1,220	14,561人
	平均利用者数 53.3	52.2	54.7	54.0	53.1	55.0	54.4	54.5	55.3	55.6	54.1	53.0	53.0人/日

前年度実績及び評価  
(2021年度最終見込)

【短期入所】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	130	115	136	146	132	156	137	175	126	133	148	166	1,700人
平均利用者数	4.4	3.8	4.6	4.8	4.3	5.2	4.5	5.9	4.1	4.3	5.2	5.4	4.7人/日
延べ利用者数	151	140	129	139	115	115	153	132	134	134	134	134	1,610人
平均利用者数	5.1	4.6	4.3	4.5	3.8	3.9	5.0	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4人/日
延べ利用者数	126	137	147	125	85	106	104	106	135	133	95	119	1,418人
平均利用者数	4.2	4.5	4.9	4.1	2.8	3.6	3.4	3.6	4.4	4.3	4.3	3.8	4.0人/日

【日中一時】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	123	121	132	145	129	129	124	127	108	110	114	127	1,489人
平均利用者数	4.1	4.0	4.4	4.7	4.2	4.3	4.0	4.3	3.5	3.6	4.0	4.1	4.1人/日
延べ利用者数	110	108	127	128	107	121	104	92	97	110	110	110	1,324人
平均利用者数	3.7	3.5	4.3	4.2	3.5	4.1	3.4	3.1	3.2	3.6	3.6	3.6	3.6人/日
延べ利用者数	90	109	108	108	80	53	110	105	96	91	93	95	1,138人
平均利用者数	3.0	3.6	3.6	3.5	2.6	1.8	3.6	3.5	3.1	3.0	3.4	3.1	3.1人/日

前年度実績及び評価  
(2021年度最終月迄)

②経営状況

	生活介護支援事業総額 (円)		サービス活動増減差額	
	サービス活動収益	人件費	サービス活動増減差額	当期活動増減差額
2019年	116,424,789	65,330,810	17,295,950	14,295,671
2020年	119,427,501	69,393,536	20,336,491	19,227,691
2021年	120,266,761	70,576,428	25,946,799	24,717,238

短期入所支援事業総額 (円)

	サービス活動収益	人件費	サービス活動増減差額	当期活動増減差額
2019年	13,910,976	6,189,724	5,565,661	5,565,745
2020年	13,082,622	6,255,163	4,772,160	4,772,244
2021年	13,439,100	6,317,169	5,046,861	5,046,929

日中一時支援事業総額 (円)

	サービス活動収益	人件費	サービス活動増減差額	当期活動増減差額
2019年	4,711,430	2,623,400	1,468,270	1,468,530
2020年	3,935,065	2,853,705	683,986	684,246
2021年	5,048,426	2,676,859	1,789,797	1,789,969

\* 2021年度の数値は、決算見込み数値です。

<p><b>① 契約者数・利用実績について</b></p> <p>【施設入所支援】8月に1人の退所があったが、長期に渡る短期入所者の契約に切り替え欠員の補充をした。</p> <p>【生活介護】今年度は、在宅から新規利用者を4人受入れたことで、現在通所者数は59名となった。</p> <p>【短期入所】固定の利用者の利用はあるが、新規登録者が無く障がい者の在宅生活の継続のため、サービスの周知を図る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して長期の利用者(月31日決定者)を常に数名抱えることで、入所定員の補充に備えた。</li> <li>【日中一時支援】コロナの影響により利用控えがあったこと、市内に同サービス事業所が増えたことにより利用者数は減少傾向にある。しかし、短期入所機能の周知を図ることで差別化を図り、利用に繋げていく。また、学齢期の保護者にサービスを周知し利用に繋げていく。</li> </ul>	<p><b>② 経営状況について</b></p> <p>【施設入所支援】・長期利用者を抱えることで入所施設の補充をスムーズにし、収入の安定を図った。</p> <p>【生活介護】現在は利用者数58名と充足しているが、新規事業開始に伴い利用者の確保が必要である。(長浜圏域にエリアを広げ利用者の確保に努める。)</p> <p>【短期入所】新型コロナウイルス感染症の影響により利用実績が減少したが、長期に渡る利用があったことから収入は増収となった。安定した経営のため利用者確保し利用日数を増やす必要がある。</p> <p>【日中一時支援】新型コロナウイルス感染症の影響で利用控えや市内のサービス事業所の充足に伴い利用日数は減少したが、令和3年度に報酬単価の見直しがあり、障害特性に応じた加算が設定され、新たな加算を算定することで増収となった。新規利用者の確保により経営の安定を図る必要がある。</p>	<p><b>③ 支援状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中活動の在り方を検討し、障害特性に応じた活動内容や活動時間を提示し、安定した生活ができるように努めた。また、月曜日から金曜日の週5日間「お仕事」という位置づけの中で活動時間を確保し、週り甲斐に繋げることで精神安定を図った。</li> <li>・職員を5グループに分け、「自閉症支援に関わる班」と「高齢者支援に関わる班」、それぞれが課題に対して研究・研修学ぶ場を設け、支援スキルの向上に取り組んだ。その途中経過を発表し合い、職員間で互いに刺激し合うことで、支援に効果が出かけている。</li> <li>・「利用者」に寄り添う支援の向上」と「仕事」に対するモチベーション、週り甲斐の良いい面を見つける「お互いに認め合う」場面を見つけるために「にやりほっと」の活動を始めた。今後も検証しながら継続していく。</li> <li>・令和3年3月に第三者評価を受審し、一定の評価を得た。指摘事項は、令和4年度改善に向けて取り組んでいく。</li> <li>・歯科協力病院として林歯科医院と協定書を締結し、利用者の口腔衛生に努め健康の維持を図った。この事を、報酬の加算算定し増収の要因となった。</li> </ul>	<p><b>④ 環境整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら職員一人ひとりの意識を高めるよう指導してきたが、2月に新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認され感染拡大(クラスター)となった。罹患者の療養期間中は、職員が一丸となって利用者の健康の快復に取り組んだ。また、このことを真摯に受け止め、今後はこれまでに以上に感染予防対策を徹底していく。</li> <li>・感染リスクを考え、施設内の環境の見直しをした。今後も継続しながらより良い環境に向けて検討していく。</li> <li>・利用者や保護者に帰省の自粛協力を促し、面会についても時間の制限を実施した。8月と3月には、寮での生活の様子を写真に収め保護者に配布した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症のクラスターが起きたことで、「令和3年度滋賀県障害福祉サービス確保のための支援事業費」の補助金の交付申請を受け、防護服やマスク、消毒液等の衛生用品の購入に充当した。</li> </ul>	<p><b>⑤ 施設整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の宿舍解体工事は、工期令和3年12月20日をもって完了した。</li> <li>・宿舍解体工事に伴う下水道改修工事は、令和4年1月18日をもって完了した。</li> <li>・擁壁等修繕工事は、工期令和3年12月24日をもって完了した。</li> </ul>	<p><b>⑥ その他(施設整備等特筆すべき事項)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一・第二サニ－ハイツ・マキノ団地周辺の草刈りと植木の剪定作業の契約を締結し、利用者・職員で作業に向いた。利用者は、生き生きとした表情をみせ普段にない働きぶりや達成感を感じたようである。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響から外部研修は全て中止となり、オンライン研修に切り替わり、移動時間の短縮等の理由から、多くの職員が受講できた。また、オンデマンド配信を活用し、複数の職員が受講出来た。</li> <li>・2月にアンフィニと合同の作品展を安曇川の藤樹の里文化芸術会館で開催した。期間中多くの来場者を迎え事業所のアピールと障害理解に繋がった。</li> <li>・地域の方を対象に陶芸教室を開催し、施設機能を地域に開放した。</li> </ul>
<p>前年度実績及び評価 (2024年度最終見込)</p>					

1: 目指す姿

入所施設の強みを活かし、利用者や地域で暮らす方一人ひとりの豊かな生活の実現に向けて事業を展開していく

① 法人本部事務局体制の充実

- : 法人全体の機能充実に向けて具体的に取り組む
- ・法人本部との連携強化

目標	通年
----	----

② 職員体制の再構築

- : 法人全体の適正な人員配置を検討する
- ・法人本部との連携強化
- ・適切な人員配置の為の採用
- ・高齢・重心対応型事業に向けた人材確保と体制整備

目標	通年
目標	3
人材確保目標	8

③ 財政基盤の強化(経営数値)

- : 新規利用者の確保による障害福祉サービス等事業収入の増額を目指す
- ・生活介護通所者の新規利用者の確保(介護学校や相談事業と連携をし新規利用者の確保と地域へのアウトリーチ)
- ・短期入所や日中一時の新規利用者確保(介護学校・相談事業所・訪問看護ステーション等の連携による市内利用者の振り起しをし、契約人数を増やしていく)
- ・市内同サービス提供事業所があることから、入所機能を持つ当事業所の強みをアピールしていく。
- ・短期入所の長期利用者の確保(次員後の補充を考え、男女各2人ずつ確保する。)

目標	3	人
目標	各3	人
目標	R4月	から
目標	4	人(実行の人数を含む)

(新規卒業時) 20 人

④ 経営理念の明確化

- : 全職員が理念・基本方針のもと行動する
- ・法人本部との連携強化
- ・職員朝礼等で理念の唱和する

当年活動方針と事業の進め方

目標	通年
目標	通年

⑤ 効率的・効果的な事務規律の確立

- ・事業所内の事務業務の見直しと担当割の検討・実施

⑥ トータルな人材マネジメントの整備 人材育成・サービスの充実

【人材育成】

- : 職員のスキルアップ
- ・事例研究(ケーススタディ)を通して「ケア・支援の具体的実践方法」を各チーム別に学び実践する。
  - 寮内で取り組みを発表する機会を設ける
- ・発達障害支援者養成研修に職員を派遣
- ・滋賀県発達支援センターからコンサルテーションの導入により支援力の向上
- ・職員意識改革に向けた研修の実施(WEB研修の活用)
- : 権利擁護意識の強化
- ・外部研修の受講
- ・内部研修の実施
- ・「虐待の芽チェックリスト」等虐待防止に対する取り組みの見直しと更なる意識の向上
- : 職員の資格取得に向けての支援
  - ・資格取得に向けたサポート体制(社会福祉士・介護福祉士・ケアマネ等)
- : リーダーの養成。
  - ・専門知識の指導者の育成(専門的な取り組みをしている事業所に派遣し技術の習得)

目標	5月末	完了
----	-----	----

発表の機会	5	回/年
目標	5	人/年
目標	3	回/年
目標	2	回/年
全職員	1	回/年以上
目標	3	回/年以上
目標	1	回/月

目標	通年
----	----

目標	2	人
----	---	---

⑦情報収集の強化

- ・新たな事業の立上げに向けた対象利用者の発掘と潜在的なニーズと課題の把握
- ・他機関との連携強化(高島市役所・市内の相談事業所・働き暮らし応援センター・養護学校・医療機関・訪問看護ステーション等)

目標	R4年11月 完了
	通年

⑧サービスの質の向上

- ・意思決定支援の強化
  - ・利用者の個別化支援の強化(状態像の把握とニーズに基づき、専門性を活かした支援)
  - ・利用者個々の身体の状況に応じた日中活動の提供(日常生活動作の維持・向上)
- ・権利擁護の取り組み強化
  - ・虐待防止委員会の強化
  - ・利用者のプライバシー、個人情報保護を確保し、信頼性の高いサービスの提供
- ・生きがい、やりがいの意識の向上(利用者向け)
  - ・活動時間の確保と内容の充実
  - ・自主製品(利用者の作品の商品化)のブランド化に向けた検討
  - ・利用者の社会参加の促進(コロナ禍の状況を踏まえ、実施内容の検討と実施)

通年	
通年	
2	回/年
6	回/年
通年	

第三者委員会  
会議目標

通年	
通年	
通年	

マキノ町内の清掃とエコオスター一区間清掃管理等

⑨安全で衛生的なかつ快適な環境の整備

- ・医療との連携
  - ・嘱託医、協力病院等との連携強化
  - ・高齢・重症対応型事業に伴う医療職の充実
- ※地域移行に向けた取り組み
  - ・高島市障がい福祉計画(第6期)令和5年度末、施設入所者の6%以上が地域に移行目標設定有

目標	R4年6月 完了
目標	R4年度中 完了

※令和5年度末目標	3	名
目標	R4年度中	に実施

⑩老人福祉施設と障害福祉施設の併設の強味を活かす(併設の強味を活かす)

- ・利用者への障害特性に応じた生活環境の整備(6月までに下案を作り、10月に再検討)
- ・衛生的な環境と感染予防対策(新型コロナウイルス等)の徹底
- ・あらゆるリスクに備えた体制整備の強化(第三者委員会・事故防止委員会・ヒヤリハット・事故報告・想定ヒヤリの取り組み強化と課題の抽出、対策の検討)
- ・消防訓練・不審者対応訓練等の実施
- ・マキノ町西自治会との協力体制の強化(年1回防災訓練等の実施)
- ・既存のマニュアルの見直しと職員や利用者へ周知の徹底
- ・災害時、福祉避難所運営に向けた取り組みと運営マニュアルの見直し(福祉避難所への被災者受け入れを想定した訓練の実施)
- ・BOP(事業継続計画)の作成

目標	令和4年12月 完了	
	通年	
	通年	
	3	回/年
目標	R4年10月 完了	
目標	R4年6月 完了	
目標	R4年10月 完了	
目標	R4年6月 完了	

⑪老人福祉施設と障害福祉施設の併設の強味を活かす(併設の強味を活かす)

- ・藤波園入所対象者の選定と移行に向けての取り組み
- ・高断片的障がい者の現状と課題を行政に伝え改善に向けての働きかけ
- ・藤波園の利用者に陶芸教室の誘い

目標	R5年3月
	通年
目標	通年

当年度活動方針と  
事業の進め方

<p>⑪地域における公益的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流事業「ふじみ祭祭り」の再開</li> <li>・陶芸教室の開催(地域の方やグループホームの利用者、その他法人事業所の利用者を対象)</li> <li>・地域貢献事業「行こカー」事業への協力(月2回運転職員出役)</li> <li>・法人本部との連携のもと、地域福祉ニーズ調査の実施</li> <li>・地域生活宿泊体験支援事業の場の提供</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>R4年6月</td> <td>予定</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>通年</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>通年</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>通年</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>通年</td> <td></td> </tr> </table>	目標	R4年6月	予定	目標	通年			通年			通年			通年	
目標	R4年6月	予定														
目標	通年															
	通年															
	通年															
	通年															
<p>⑫魅力ある職場環境の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人本部との連携強化</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>通年</td> <td></td> </tr> </table>		通年													
	通年															
<p>⑬法人のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性の高い事業所</li> <li>・自主製品(利用者の作品等)のブランド化</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>通年</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>通年</td> <td></td> </tr> </table>		通年			通年										
	通年															
	通年															
<p>⑭広報活動の充実(情報発信の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、ホームページの更新をし、事業所の取り組み等の発信</li> <li>・事業所のパンフレットの再制作</li> <li>・ボランティア募集の仕組みを見直しと運用</li> <li>・中学生向けのボランティア活動の啓発</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>通年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>R4年6月</td> <td>完了</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>R4年6月</td> <td>完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td>通年</td> <td></td> </tr> </table>	目標	通年		目標	R4年6月	完了	目標	R4年6月	完了		通年				
目標	通年															
目標	R4年6月	完了														
目標	R4年6月	完了														
	通年															
<p>⑮先進的な技術やITの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中、帰省の自粛や面会制限のあることから、施設での生活を伝える手段を工夫する</li> <li>・コロナ禍の中、外部研修受講に向けて、WEB環境の整備</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>通年</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>通年</td> <td></td> </tr> </table>		通年			通年										
	通年															
	通年															

当年度活動方針と事業の進め方

# 令和4年度(2022年度) 事業計画書

事業所

藤美相談支援事業所

## ①契約者数及び利用実績

契約者数 (人)	
2019年	103
2020年	100
2021年	101

実績	
計画数(件)	モニタリング数
2019年	71
2020年	196
2021年	45
	278
	60
	269

## ②障害福祉サービス等事業収入

	計画相談支援給付費収入 (円)
2019年	3,813,028
2020年	5,610,000
2021年	6,339,309

	職員数 (人)
2019年	相談員(専従)1.0、(専務)0.1、所長(兼務)1.0
2020年	相談員(専従)1.0、(専務)0.1、所長(兼務)1.0
2021年	相談員(専従)1.0、(専務)0.1、所長(兼務)1.1

## ③経営状況

	サービス活動収益	人件費	サービス活動増減差額	当期活動増減差額
2019年	3,813,028	8,031,065	-4,410,960	851,175
2020年	5,610,000	5,255,000	-400,000	0
2021年	6,339,309	6,926,662	-649,951	0

## ①<契約者数・利用実績について>

・藤美寮の入居者1人が退所、在宅生活者2人、短期入所者1人を受入、昨年度より契約者数は2人増え101人となった。

## ②<計画相談支援給付費について>

・令和3年4月より報酬単価の見直しがあり、計画相談支援給付費の単位数がより細かくなり、7つの体制加算が宗された。相談支援専門員が資格や研修等で要件を満たすことで加算が算定できる仕組みとなり、益々相談員の専門性が問われることとなった。

## ③<経営状況について>

・加算に必要な研修に出向き、より多くの加算を取得できるようにした。また、提供したサービスが必ず報酬に繋がるように意識しながら業務を行った。

## ④支援等について

・発達障がいの特徴に理解がないままに成長し、二次障害の精神疾患を発症したり、家族・事業所の理解がないために支援がうまくいっていないケースが増えているように感じた。

・発達障害者支援センターやコンパスの心理士の助言を得ながら進めているが、その都度課題に対して統一した支援が出来ないため時間を要するケースが多くなった。

・家族の繋がりが希薄化し、将来的な住まいの場を検討したり、調整が必要となるケースが目立った。

・同居の方で近隣に家族等の身内が居なく、調子を崩した場合支援が難しい。また、頼れる人が居なく、度々相談の連絡が入る等、報酬に直結しないケースがあった。

## ⑤環境整備

・コロナ禍の中、ZOOMなどを活用し、相談業務が効率的に遂行できる工夫をした。  
・事務的な業務を担当する相談員を雇用したことで、専従の相談員は本来の相談業務に専念できるようになった。

## ⑥その他(施設整備等特筆すべき事項)

・より専門性の高い相談業務を目指すためには、相談員のスキルアップと人員配置の検討は必要であるが、報酬単価が安価であることから、経営面を考えると難しい。

・新たに相談支援初任者研修に1人受講させた。

前年度実績及び評価  
(2021年度最終算込)

1:目指す姿

他の事業所との連携のもと、本人が望む生活が継続できるように、計画や調整を行う

①法人本部事務局体制の充実

- ・法人全体の機能充実に向けて具体的に取組む
- ・法人本部の方針に準じ連携して実施する。

目標	通年	から
----	----	----

②職員体制の再構築

- ・法人全体の適正な人員配置の検討
- ・法人本部の方針に準じ連携して実施する。
- ・専従と兼務との人員配置と業務の検証

目標	通年
目標	通年

③財政基盤の強化(経営数値)

- ・経営の安定を図る
- ・更なる加算の取得により収支の黒字化
- ・セルプログラムの方等、新規利用契約者の確保
- ・単独経営できるよう行政に訴える

目標	通年	
目標	3	人/年
目標	通年	

④経営理念の明確化

- ・全職員が理念・基本方針のもと行動する
- ・法人本部との連携強化
- ・職員朝礼等で理念の唱和
- ・効果的・効果的な事務規律の確立
- ・業務の整理と適切な役割分担

当年度活動方針と  
事業の進め方

目標	通年
目標	通年

⑤トータルな人材マネジメントの整備 人材育成・サービスの充実

- ・人材育成
- ・事業の継続に必要な体制づくり(相談支援専門員研修)
- ・スキルアップため各種研修への参加

目標	通年
----	----

⑦情報収集体制の強化

- ・多職種連携の強化
- ・他事業所の相談員や行政等の関係機関と連携の強化

目標	1	人/年
目標	1	人/年

目標	通年
目標	通年

⑧サービスの質の向上

- ・本人に合ったプラン作成
- ・本人に必要なサービスを見極めプランに落とし
- ・関係機関との連携の強化

目標	通年
目標	通年

⑨安全で衛生的なかつ快適な環境の整備

- ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底
- ・あらゆるリスクに備えた体制整備の強化(第三者委員会・事故防止委員会・ヒヤリハット・事故報告・想定ヒヤリの取組み強化と課題の抽出、対策の検討)
- ・避難行動要支援者に対する災害時の相談業務の強化

目標	通年
目標	通年
目標	通年



当年度活動方針と 事業の進め方	⑩老人福祉施設と障害福祉施設の併設の強味を生かす ・ 法人の各事業所との連携	目標 通年
	⑪地域における公益的な取り組み ・ 藤美寮と連携のもと取り組み	目標 通年
	⑫魅力ある職場環境の構築 ・法人本部との連携強化	目標 通年
	⑬法人のブランド化 ・ 法人内事業所との連携の充実 ・ たかしま会で採用されたロゴマークを名刺や郵便物の封筒に印刷し、法人・事業所をアピールする	目標 通年 目標 通年
	⑭広報活動の充実(情報発信の強化) ・ ホームページを活用し情報の発信 ・ パンフレットの作成	目標 1 回/月 目標 令和4年8 月完成
	⑮先進的な技術やITの取り組み ・ 業務の効率を上げるためZOOMなどの活用	目標 通年

# 令和4年度(2022年度)事業計画

事業所 グループホーム

## ①契約書数及び利用実績

契約書数 (人)	
2019年	23
2020年	23
2021年	24

利用実績	
所要日数(日)	要利用書数(人)
2019年	365
2020年	366
2021年	365

職員数 (人)	
2019年	19
2020年	20
2021年	21

## ②訓練等給付費

訓練等給付費 (円)	
2019年	53,888,357
2020年	54,411,464
2021年	56,187,013

## ③経営状況

共同生活援助事業総額 (円)			
	サービスマネジメント収入	人件費	当期活動増減差額
2019年	67,663,420	40,908,795	10,945,500
2020年	70,788,036	40,940,893	11,076,775
2021年	70,641,746	44,623,113	10,045,266

## ①<契約者数・利用実績について>

・既存の利用者は、疾病による入院等も無く元気にホームでの生活を維持した。

・令和4年1月より高木浜ホームの定員を4人から5人に変更し、その後1人の入居者を受け入れ、利用契約者数は24人となった。

## ②<訓練等給付費について>

・利用者若干の障害支援区分の変更があったこと、新型コロナウイルス感染症の影響により、県の自費をお願していることから訓練等給付費収入は増収した。

## ③<経営状況について>

・令和3年度の報酬改定率は+0.56%で、うち新型コロナウイルス感染症に対応するための特例加算が上乗せされたこと、県の自費により稼働率が伸びたこと等により、訓練等給付費収入は前年度比1.033増収した。

・利用者の状況に応じた支援体制を目指し、今後は、体制を見直しながら加算の算定をし経営の安定に繋がった。

## ④生活支援

・2月18日に新型コロナウイルス感染症の陽性者1人を確認し、その後ホームの利用者6人と世話人4人、羽ばたきの利用者2人と接触のあった部屋ハウスの利用者1人が濃厚接触者となり、PCR検査を受検した。その結果、利用者2人に陽性が確認された。陽性者は、10日間の施設内隔離となり、また、濃厚接触者は、7日間の健康観察となった。幸いにも症状は軽症で現在は全員が健康な状態になり以前の生活に戻った。

・新型コロナウイルス感染症拡大防止を世話人・利用者呼びかけ、日々の健康観察、手指消毒の徹底、建物内の換気、買い物等の外出の自粛、マスクの着用その他、テーブルにアルコール消毒液を設置するなど、感染予防対策について理解を求め実施した。また、食事については、可能な限り部屋食で提供し、出来るだけ接触を控えた。

・コロナ禍の中でも思うように外出が出来ず、ストレスを抱えながら生活をしてきた。その為、世話人の買い物代行やテイクアウトで食事を楽しむ、公園や浜辺を散歩する等工夫をしながら新しい生活様式の中で生活を継続した。

## ⑤環境整備

・支援区分の重度化に伴い、世話人の配置基準が多くなった。今後も配置基準を勘案しながら支援をしていく。

## ⑥施設整備

・羽ばたきについては、築15年目を迎え今年度外壁と屋根の塗り替え工事を計画し、12月末には工事完了した。

・経年劣化等により、軽微な備品の買い替えが生じているが、何れも予算内で執行した。

## ⑦その他(施設整備等特筆すべき事項)

1: 目指す姿

それぞれの利用者が望む地域生活がいっまでも継続できるよう体制を整える

① 法人本部事務局体制の充実

- : 法人全体の機能充実に向けて具体的に取り組む
- ・ 法人本部との連携強化

② 職員体制の再構築

- : 法人全体の適正な人員配置を検討する
- ・ 法人本部との連携強化

③ 財政基盤の強化(経営数値)

- : 「たっちの家」の老朽化に伴い将来的に賃貸住宅から法人所有にし、定員も4名から7名に増員することで地域ニーズに対応すると共に更なる経営の安定
- ※ サービス活動収益を現在3名増員分の増収
  - ・ 「たっちの家」移転先建設予定地の選定
- : 適切な人員配置
  - ・ 利用者の障害支援区分に応じた職員配置の検証

④ 経営理念の明確化

- : 全職員が理念・基本方針のもと行動する
- ・ 法人本部との連携強化
- ・ キーパー会議等で理念の唱和する

⑤ 効率的・効果的な事務規律の確立

- ・ サービス管理責任者の業務の整理

⑥ トータルな人材マネジメントの整備 人材育成・サービスの充実

- 〈人材育成〉
  - : キーパーのスキルアップ(障がい特性に配慮した支援スキルの習得)
    - ・ 現行の職員研修に加えて、専門性に特化した研修を実施
  - 〈人材確保〉
    - : 安定した雇用
      - ・ キーパーの高齢化に伴い若い人の雇用の促進

⑦ 情報収集の強化

- ・ キーパー会議の定期開催

⑧ サービスの質の向上

- 〈共同生活援助事業への支援〉
  - : 意思決定支援の充実を図る
    - ・ グループホームごとに余暇活動の選択
    - ・ グループホームごと宅配の給食材料以外に好きなメニューを食べる機会の提供
      - 高齢者(70歳以上)の日中活動の場と生活の場の検討
      - あっとホームと箱館ハウスの合同支援の検討
- : 利用者に合った適切なサービスの提供
- : 重度者と中軽度者の住み分け

目標 通年

目標 通年

※目標 R7年度

※目標 R7年3月 完了

目標 通年

目標 通年

目標 通年

目標 R4年4月 から

目標 1 回/年

目標 3 人

目標 各ホーム4回/年

目標 1 回/月

目標 1 回/月

目標 R4年度 まで

目標 R4年度 まで

<p>当年度活動方針と事業の進め方</p>	<p>⑨安全で衛生的なかつ快適な環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あらゆるリスクに備えた体制整備の強化(第三者委員会・事故防止委員会・ヒヤリハット・事故報告・想定ヒヤリの取り組み強化と課題の抽出、対策の検討)</li> <li>・ 消防訓練・不審者対応訓練等の実施</li> <li>・ 防災対策の充実(防災食・発電機等の購入)</li> <li>・ 既存のマニュアルの見直しとキーパーや利用者へ周知の徹底</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>R4年9月完了</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>R4年9月完了</td> </tr> </table>	目標	通年	目標	2回/年	目標	R4年9月完了	目標	R4年9月完了
	目標	通年								
	目標	2回/年								
	目標	R4年9月完了								
	目標	R4年9月完了								
	<p>⑩老人福祉施設と障害福祉施設の併設の強味を活かす(併設の強味を活かす)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バックアップ施設との連携のもと、見学・体験の機会の提供</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>R4年10月</td> <td>から開始</td> </tr> </table>	目標	R4年10月	から開始					
	目標	R4年10月	から開始							
	<p>⑪地域における公益的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤美寮との連携強化</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>通年</td> </tr> </table>	目標	通年						
	目標	通年								
	<p>⑫魅力ある職場環境の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人本部との連携強化</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>通年</td> </tr> </table>	目標	通年						
目標	通年									
<p>⑬法人のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土日の日中支援や夜間支援など充実した支援体制という強みを活かし、重度の方も地域生活ができる体制の維持</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>通年</td> </tr> </table>	目標	通年							
目標	通年									
<p>⑭広報活動の充実(情報発信の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページを活用し、生活の様子を発信する</li> <li>・ グループホームのパンフレットの作成</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>R4年度中</td> <td>まで</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>R4年度中</td> <td>まで</td> </tr> </table>	目標	R4年度中	まで	目標	R4年度中	まで			
目標	R4年度中	まで								
目標	R4年度中	まで								
<p>⑮先進的な技術やITの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ WEBサイトの活用</li> </ul> <p>コロナ禍で帰省も自粛している中で、保護者へ生活の様子を伝え少しでも安心してもらえよう取り組む</p>	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>通年</td> </tr> </table>	目標	通年							
目標	通年									

令和4年度(2022年度) 事業計画

①契約者数及び利用実績

契約者数 (人)	
2019年	52
2020年	55
2021年	60

利用実績		
	所要日数(日)	更利用者数(人)
2019年	241	3,216
2020年	241	2,968
2021年	251	3,390

職員数 (人)	
2019年	7
2020年	8
2021年	8

②障害福祉サービス等事業収入

	受託事業収入(公費) (円)	受託事業収入(一般) (円)
2019年	24,831,975	636,507
2020年	23,723,362	594,920
2021年	28,476,006	718,913

③経営状況

	サービス活動収益	人件費	サービス活動増減差額	サービ活動増減差額:活動増減差額
2019年	25,687,240	16,649,737	2,799,499	2,795,285
2020年	25,420,334	15,975,652	3,460,964	3,493,197
2021年	29,339,813	17,489,303	5,902,049	6,028,251

①<契約者数・利用実績について>

- ・契約解除(死亡)3人、新規契約8人で現在の契約者数は60人になった。令和3年度の新規契約者数の目標人数を満了した。また、3名の見学者があったが、利用実績までは結び付かなかったため、毎月の活動予定表を手渡す等で関係性を築いている。
- ・契約者数のうち10人程は長期間に渡る利用が無いが、毎月の活動予定表を届けたり電話で様子を尋ねる等として関係性を保っている。今後は、無理のない範囲でホリデーサロンに誘いかけて利用に結び付けていく。

②<受託事業収入について>

- ・市内のコロナウイルス感染症の感染状況の影響もあり、通所の自費や障がい特性等から半日の通所利用が多く、収入は低迷していた。しかし、令和3年5月から1回土曜日に通所日を設けたことで、受託事業収入は増収となった。

③<経営状況について>

- ・令和3年度に報酬単価の戻しがあり、区分単価は0.01%下がったが、障害特性に応じた加算が設定され、新たな加算を算定することで増収となった。
- ・半日利用の利用者が増え、燃料費の高騰化や送迎に対する人件費が増加傾向にあった。また、利用状況に応じた職員配置をすることで、経営の安定を図った。
- ・できるだけ無駄を無くし経費の削減に努めた。

④活動支援

- ・2月に藤美菜と合同で作品展を安曇川町の藤樹の里文化芸術会館で開催した。多くの来場者を迎え事業所のアピールと障害理解に繋がった。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて外部からのボランティアや講師の出入りを止めた。
- ・新たな活動を入れることで、利用人数の増に繋がった。
- ・6月の茶話会で、所長の来所日を増やして欲しいとの要望を受け、7月より月2回相談受付日を設けた。

⑤環境整備

- ・利用者の利用人数に応じて職員配置を考えてきたが、アンフィニは利用者の障害特性上当日の朝に通所のキャンセルが入る等で難しい面があった。
- ⑥施設整備
  - ・室内照明について、LEDの照明器具の交換で業者見積を取ったところ、リスクが担の60万円を超えることから、高島市に令和4年度の予算要求をした。
  - ・視覚障がいの利用者から室内に点字ブロックを設置して欲しいとの要望があり、高島市と相談し業者に見積り徴収し、3月に設置を完了した。

⑦その他(特筆すべき事項)

- ・精神障がい者等の居場所作りとして、「ホリデーサロン」と名付け計画したが、広報活動が弱く軌道に乗っていない。

1: 目指す姿

・個別支援計画に基づき適切な支援を行い、地域生活が継続できるようにする

①法人本部事務局体制の充実

- ・法人全体の機能充実に向けて具体的に取り組み
- ・法人本部の方針に準じ連携して実施する。

②職員体制の再構築

- ・法人全体の適正な人員配置を検討する
- ・法人本部の方針に準じ連携して実施する。

③財政基盤の強化（経営教値）

- ・第4期指定管理者として指定を受ける 指定期間：令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間
- ・安定した経営管理の上、地域の福祉サービスの担い手として、責務を果たす。
- ・新規利用者と高い稼働率の確保による受託事業収入の増額を目指す
- ・新規利用者の確保(養護学校・相談事業所・訪問看護ステーション等の連携による市内利用者の掘り起こしをし、契約人数を増やしていく)。
- ・毎月2回、土曜日に開所日を設け稼働率を上げる。開所日の上限を23日に近づける。
- ・「障がい者地域生活支援事業」に関する申請手続きの探助
- ・行政が行う支援区分への助言(本人の状態にあった区分決定)

当年度活動方針と事業の進め方

④経営理念の明確化

- ・全職員が理念・基本方針のもと行動する
- ・法人本部との連携強化
- ・職員会議等で理念の唱和

⑤効果的・効果的な事務規律の確立

- ・事業所内の業務内容の必要性と役割を見直し、業務の効率化を図る

⑥トータルな人材マネジメントの整備 人材育成・サービスの充実

- 〈人材育成〉
- ・職員のスキルアップ
- ・知的障がい者・精神障がい者・身体障がい者への支援スキルを習得するために、定期的に研修会の実施
- ・権利擁護意識の強化
- ・講師による内部研修と外部研修の受講を計画的に実施
- ・虐待防止委員会の設置と新たな虐待防止への取り組み
- ・職員の資格取得に向けての支援
- ・資格取得に向けたサポート体制(社会福祉士・介護福祉士・ケアマネ等)

⑦情報収集の強化

- ・他機関との連携(高島市役所・市内の相談事業所・働き暮らし応援センター・養護学校・医療機関・訪問看護ステーション等)
- ・職員自らが、地域に出向き情報の収集(地域サロンの手伝い等)

目標 通年

目標 通年

目標 通年

目標 3 人

目標 265 日/年

目標 8 人

目標 通年

目標 通年

目標 通年

目標 6 回/年

目標 3 回/年

目標 令和4 年から

目標 通年

目標 通年

目標 通年

<p>当年度活動方針と事業の進め方</p>	<p>⑧サービスの質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模事業所の利点を生かし、きめ細やかな声掛けや関わりをすることで、満足度の高いサービスを提供する</li> <li>・ 保護者(家族)への相談機能を充実させ、レスパイトの役割を果たす</li> <li>・ 季節の野菜、旬の食材を使用した給食提供</li> <li>・ 重度心身障がい者及び高齢障がい者を対象に入浴支援の実施</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>目標</td><td>通年</td></tr> <tr><td>目標</td><td>通年</td></tr> <tr><td>目標</td><td>通年</td></tr> <tr><td>目標</td><td>2回/週</td></tr> </table>	目標	通年	目標	通年	目標	通年	目標	2回/週		
	目標	通年										
	目標	通年										
	目標	通年										
	目標	2回/週										
	<p>⑨安全で衛生的なかつ快適な環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生的な環境と感染予防対策(新型コロナウイルス等)の徹底</li> <li>・ あらゆるリスクに備えた体制整備の強化(第三者委員会・事故防止委員会・ヒヤリハット・事故報告・想定ヒヤリの取り組み強化と課題の抽出、対策の検討)</li> <li>・ 不測の事態に備え、避難訓練の実施(隣接する虹の会大地との協力体制の強化)</li> <li>・ マニュアルの見直しと職員や利用者へ周知徹底</li> <li>・ 災害時、福祉避難所運営に向けた取り組みと運営マニュアルの見直し(福祉避難所への被災者受け入れを想定した訓練の実施)</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>目標</td><td>通年</td></tr> <tr><td>目標</td><td>通年</td></tr> <tr><td>目標</td><td>2回/年</td></tr> <tr><td>目標</td><td>6月完了</td></tr> <tr><td>目標</td><td>6月完了</td></tr> </table>	目標	通年	目標	通年	目標	2回/年	目標	6月完了	目標	6月完了
	目標	通年										
	目標	通年										
	目標	2回/年										
	目標	6月完了										
	目標	6月完了										
	<p>⑩老人福祉施設と障害福祉施設の併設の強味を活かす(併設の強味を活かす)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤美寮との情報交換の場と連携</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>目標</td><td>通年</td></tr> </table>	目標	通年								
	目標	通年										
	<p>⑪地域における公益的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホリデーサロンの実施により、障がい者が社会に出るきっかけと居場所の提供(継続)</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>目標</td><td>1回/月</td></tr> </table>	目標	1回/月								
	目標	1回/月										
<p>⑫魅力ある職場環境の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人本部と連携して魅力ある職場環境の構築を図る</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>目標</td><td>通年</td></tr> </table>	目標	通年									
目標	通年											
<p>⑬法人のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員は、専門的な支援スキルを高め、適切な支援をすることで、高島圏域の中での強い手となる</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>目標</td><td>通年</td></tr> </table>	目標	通年									
目標	通年											
<p>⑭広報活動の充実(情報発信の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページを使い活動内容等情報の発信の強化</li> <li>・ 視覚障害者協会との連携</li> <li>・ 公共の場パンフレットを置き、事業所を周知</li> <li>・ 職員が精神障がい者や身体障がい者の当事者や保護者の集まりに参加し、事業所を周知</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>目標</td><td>通年</td></tr> <tr><td>目標</td><td>通年</td></tr> <tr><td>目標</td><td>通年</td></tr> <tr><td>目標</td><td>通年</td></tr> </table>	目標	通年	目標	通年	目標	通年	目標	通年			
目標	通年											
目標	通年											
目標	通年											
目標	通年											
<p>⑮先進的な技術やITの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ WEB研修等の環境整備</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>目標</td><td>継続</td></tr> </table>	目標	継続									
目標	継続											

令和4年度(2022年度) 事業計画書

①契約者数及び利用実績

契約者数(人)	
2019年(実績)	26
2020年(実績)	29
2021年(実績)	28

利用実績		職員数(人)
所収日数(日)	利用者数(人)	
2019年(実績)	240	5,688
2020年(実績)	242	5,649
2021年(実績)	242	5,200

職員数(人)	
2019年(実績)	8
2020年(実績)	8
2021年(実績)	9

②訓練等給付費

訓練等給付費(円)	
2019年(実績)	42,115,103
2020年(実績)	42,760,286
2021年(実績)	39,800,000

③就労支援事業(生産活動)

生産活動総額(円)	利用者一人当たり総額(円)	平均工賃月額(円)	
2019年(実績)	3,529,887	3,210,284	10,224
2020年(実績)	2,953,478	2,565,635	8,037
2021年(実績)	3,500,019	3,042,164	10,106

①<契約者数・利用実績について>

・前年度に比べ、利用者の1人減に加え年度途中より通所の遠絶えている利用者が3人おり、延利用者数減少の要因となった。

・精神科を退院する予定の人について、関係機関と連携を図り、利用につながった。

②<訓練等給付費について>

・平日閉所目標241日のところ、大雪による閉所が2日、新型コロナウイルス感染症の影響による閉所が2日と、平日の閉所日が4日減となったが、10月より開始した「玉座閉所」が計5日あったことから、総閉所日数は、前年度と同じ242日となった。また、延利用者数が約450人減少したため、訓練等給付費は大幅な減収となった。

③<就労支援事業について(生産活動)>

① 受注加工部門は、新型コロナウイルス感染症の影響もなく、以前より多い受注状態となっている。

② 自主製品部門は、おもむき等の着の赤り上げが短期であった。道の販売場の販促を強化したこと、個人客への発送依頼の増加により大幅な増収となった。また、生産体制を強化し作業の効率化を図ったことで、生産量が前年度の約9割となった。秋の繁忙期には、赤十字奉仕団やボランティアの協力を得て売場を伸ばした。

野菜の生産は、かぼちゃが長梅雨と猛暑の影響で不作であったが、その他は全て不作であり、玉ねぎ、さつまいも、じゃがいも、大根、かぶらを市内の協賛センターに納品した他、滋賀県産産直の事業「びわ湖まんぷく市場」への出荷・出荷を行った。また、なじみの個人客への販路に加え、SNSからの発注により販路につながったものもあった。

③ 受注作業部門は、天候不順等の理由で既存の取引先からの受注が減ったが、新規の受注受注先を1件開拓することができた。地元の高齢農家の手伝いとして、今後も取引を続ける予定である。

④ 内銷売上部門は、藤羹祭への野菜販売を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響があり実績なし。

④<経営状況について>

・人件費支出が若干抑えられた。事務局長交代により、夏季賞与の額に変動があったため。  
 ・事業費は、昨年度の新型コロナウイルス感染症関連補助金を活用して償還した感染対策用備品の在庫が、十分であることから、在庫補充費支出を抑えることができたものの、ガソリン代の高騰、公用車の経年劣化による故障の修理が多かったことで、車輦費支出が増加した。

・事務費は、施設内の修繕が少なかったことから修繕費支出が抑えられた。その他、複合機の新型機導入に伴うパソコン料減により保守料支出が抑えられた。

⑤<生活支援>

・当事業所を高島市の地域生活支援拠点等に登録し、藤羹祭に措置入所となった利用者を受け入れ3か月間支援した。  
 ・長期に事業所を休んでいる利用者に対し、自宅訪問を行った他、市や相談事業所との連携を強化したが、利用には至らず通所となった。

・新型コロナウイルス感染症予防の観点から施設内行事を縮小したが、十分に配慮を行った上で、食事会および接遇の根拠を減らしたイベントを開催した。

⑥<環境・施設整備>

・作業室や倉庫等、施設内を整理し、内職の在庫の把握や在庫スペースの拡充を行なった。

・利用者の作業環境を整えるため、窓の日差し除けの取り付けや作業機の配置の見直しを行った。

⑦<その他(特等すべき事項)>

④経営状況

就労支援事業総額(円)		
サービス活動収支	人件費	
2019年(実績)	48,545,037	27,978,031
2020年(実績)	47,105,344	29,787,511
2021年(実績)	44,350,000	29,446,000
		当期活動増減差額
		4,788,123
		5,286,754
		4,619,693
		4,302,454
		2,100,000
		1,750,000



1: 目指す姿

利用者の個性を活かし、楽しく働くことで、充実した毎日が送れるよう支援する。その人にとっての「居場所」となる。

— 自分らしさを再発見！ 働く喜びを見つけよう。 —

①法人本部事務局体制の充実  
: 法人本部の機能充実に向けて本部と連携して取り組む

・法人本部の方針に準じ、連携して実施する。

②職員体制の再構築  
: 法人本部と連携して事業室に見合う人員配置を再検証する

・法人本部の方針に準じ、連携して実施する。

③財政基盤の強化  
: 新規利用者の確保と稼働率の向上による訓練給付受の増額を目指す

・新旭産産学校・相談事業所・精神病院地域連携室との連携による市内利用者の掘り起こし (1人1週所 1人1所)  
・令和5年度の利用者受け入れ地域拡大に向け、準備を進める。

目標 1 人

・稼働率の向上

目標 263 日  
(単位:千円)

④経営理念の明確化  
: 法人本部と連携して理念・基本方針のもと、朝礼時に「たかしま会理念」を唱和する

・職員会議等、夕方に行う会議時に実施する。

⑤効率的・効果的な事務規律の確保  
: 法人本部と連携して事業所内の事務の見直しとコスト意識の醸成を図る

・毎月2回、土曜閉所日を設け、稼働率を向上させる。並行的に祝祭日のある週の土曜日を閉所日とするが、月により隔りがあるため調整し、閉所上限の28日に近づける。

目標 通年

⑥トータルな人材マネジメントの整備 人材育成・サービスの充実 (人材育成)

: 職員のスキルアップ(三階層に対する知識の習得)

・三階層基礎研修 強化学習型研修を受講  
強化学習型実践研修を受講

目標 1 人  
目標 2 人

: 職員のスキルアップ(利用者支援に対する知識の習得)

・スキルアップ研修 自閉症勉強会(発達障害者支援センターによるコンサル)

目標 1 人  
目標 4 回

: 職員の資格取得に向けての支援

・虐待防止研修 職員会議にて、障害者虐待に関する知識向上や虐待防止の取り組みについて考える。  
・資格取得支援 前年度に引き続き、大型特殊免許取得に向けての支援を行う。  
(令和3年度は研修プログラムの感染拡大により修習等の遅延を見送ったため)

目標 5 回  
目標 4 回

: 楽しく働ける職場づくり

・休憩時間の確保や福利厚生の実装等、安心して働ける職場づくりを行う。

⑦情報収集体制の強化

: 多職種連携を強化する

・市・県・相談事業所・働き暮らし応援センター・特別支援学校・高島病院・聖徳病院・滋賀里病院・各グループホーム・B型事業所等との連携を強化する。

: SNSの有効活用

・インスタグラム、フェイスブック等、SNSにより全国の作業所と交流し、事業所とのPRや情報交換を行う。

目標 1 人  
目標 2 人  
目標 1 人  
目標 4 回  
目標 5 回  
目標 4 回  
目標 1 人

当年度活動方針と事業の進め方

⑧サービスの質の向上

〈総合的な支援〉

- ・個別支援計画の作成
- ・虐待防止への取り組み
- ・第三者委員会等への情報提供
- ・利用者の長期欠席者への対応の充実
- ・就労者の育成
- ・体験実習の受け入れ
- ・各種行事の充実

- ・利用者のニーズ調査を徹底し、自立支援につなげる計画を作成する。
- ・利用者への聞き取りを経て当事業所に合った課題を抽出し、職員全員で行なう虐待防止会議にて検討する。
- ・苦情案件はもちろん業務遂行上の課題を抽出しサービスの向上に努める。
- ・定期的な家庭訪問を実施する。
- ・事業所から就労者を社会に送り出すため、関係機関との情報交換を行う。
- ・体験実習を積極的に受け入れ、契約者の増加に努める。
- ・行事がマンネリ化しないよう、職員が積極的にアイデアを出し合い検討する。

目標  回

目標  人

〈工賃向上のための支援〉

- ・職装指導員会議の充実
- ・自主製品の販売店舗の拡大
- ・自主製品のネットショップ販売
- ・よもぎ湯の糸の増産体制の確立
- ・よもぎ湯の素材の安定確保

- ・週1回開催し、職員や利用者の配置、売上の進捗確認と内職の受注調整を行う。
- ・既存の市内道の駅以外に販売先を開拓する。びわ湖まんぷく市場への積極的な参入。
- ・ジョブ運営と戦略の検討(取り扱い商品の説明文のチェック、開設市場の動向調査、顧客獲得戦略等)
- ・ボランティア・職員OBの協力を得た増産体制を確立する。ボランティア募集を広く行う。
- ・製造工程の見直しにより、製造数アップを図る。
- ・従来作業に加え、シルバー人材等にも委託し、原料確保の安定化を図る。
- ・よもぎの自家栽培に向け、耕作放棄地の選定・借り上げとよもぎ種子の入手・栽培を進める。

目標  店

製造数  袋/月

・重症障害者向け新商品の開発

・芸術作品等の商品化の検討

・野菜のブランド化の推進

(障害者+耕作放棄地+地元高齢者+事業所の独自ブランド)  
(農福連携+付加価値=広い販路と高単価)

- ・作業工程の一部に、重症障害者が関わられる試作品の検討をする  
(例:木工製品、お茶・ビネガー等。よもぎ入浴剤、風呂敷付もよぎ浴巾、リネン加工等。地元観光地とのコラボ商品開発)
- ・地域のアーティストや大学と連携して開発プロジェクトチームを立ち上げ方向性を絞る。  
(令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により参加が難しく、未実施。)
- ・5品種の無農薬への転換準備と栽培マニュアルの作成。(ほたて、じゃがいも、さつまいも、かぼちゃ、大根)
- ・ブランド化に向けた取り組みをする(ロゴマークシール、包装材料の使用、独自ブランドの名称・ストーリー作り)
- ・地元農家との交流(高齢農家の作物の販路、働き手不足等の情報収集)
- ・農業の本格化に向け、検討の場を持つ。販路予定量に応じ、必要があれば食品保管庫設置の準備を進める。

目標  点

…… ストーリー作り

目標  回

⑨安全で衛生的かつ快適な環境の整備

・防災マニュアル・感染症予防マニュアルの周知・見直し

- ・消火訓練・避難訓練の実施
- ・バリアフリー設備等の老朽化対策

- ・各マニュアルを職員や利用者に関知徹底する。
- ・消防訓練がマンネリ化しないよう工夫しながら実施する。土砂災害を想定した訓練も行う。
- ・定期的な館内の見回りによる点検と修繕を実施する

目標  回

目標  回

<p>⑩ 老人福祉施設と障がい者支援施設の併設の強味を活かす</p> <p>: 藤波園入所者との連携強化</p>	<p>土曜開所日や農作業等で交流をする。農作業に伴う「収穫祭」等のイベントへの参加にも強いかけをかける。</p>	<p>目標 <input type="text" value="2"/> 回</p>									
<p>⑪ 地域における公益的な取り組み</p> <p>: 社会貢献事業「行こう！カー」へ協力</p> <p>: 地域の公的な活動への参加</p>	<p>・毎月第三金曜日に職員1名が出発する。</p> <p>・要請に応じ、地域の研修活動、学校の福祉教育に講師として出役する。</p> <p>・足湯体験等イベントや健康教室への出前講座を行う。</p>	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>1</td> <td>回/月</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>2</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>2</td> <td>回</td> </tr> </table>	目標	1	回/月	目標	2	回	目標	2	回
目標	1	回/月									
目標	2	回									
目標	2	回									
<p>⑫ 魅力ある職場環境の構築</p> <p>: 法人本部と連携して魅力ある職場環境の構築を図る</p> <p>・楽しく働ける職場づくり</p>	<p>・休憩時間の確保や福利厚生充実等、安心して働ける職場づくりを行う。(再掲)</p>										
<p>⑬ 法人のブランド化</p> <p>: 全自主製品にロゴマークシール貼り付け</p>	<p>・たかしま会で採用されたロゴマークを使用する。</p>										
<p>⑭ 広報活動の充実(情報発信の強化)</p> <p>: HPや広報誌の発行充実</p> <p>: ボランティア団体との共同作業の場の構築</p> <p>: SNSの有効活用</p>	<p>・法人本部と連携しHPや広報誌の充実を図る</p> <p>・民生・児童委員等に呼びかけ利用者や地域住民との共同作業の場を設け交流を深める</p> <p>・インスタグラム、フェイスブック等、SNSにより全国の作業所と交流し、事業所のPRや情報交換を行う。(再掲)</p>	<p>目標 <input type="text" value="4"/> 回</p>									
<p>⑮ 先進的な技術やITの取り組み</p> <p>: 新型コロナウイルスへの対応として外部研修の受講体制を整える</p> <p>: 自主製品のネットショップ販売(再掲)</p> <p>: SNSの有効活用(再々掲)</p>	<p>・リモート研修を要請できる環境を有効利用し、外部研修を積極的に受講する。</p> <p>・ショップ運営と戦略の検討(取り扱い商品の説明文のチェック、開店市場の動向調査、顧客獲得戦略等)(再掲)</p> <p>・インスタグラム、フェイスブック等、SNSにより全国の作業所と交流し、事業所のPRや情報交換を行う。(再々掲)</p>										

当年活動方針と事業の進め方